災害にまつわる〇〇問題

17 パートナーシップで目標を達成しよう
必要に応じて官民・民民、国内外の
多様なパートナーシップのもと支援を進める

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

発災直後・緊急期（避難所があるころ）	復旧期（仮設住宅があるころ）	生活再建期（復興住宅があるころ）	防災・減災（平時）
1 貧困をなくそう			
●避難生活にともなう支出増 →		●二重ローン	
●住む場所がなくなる ●車や日常生活用品を失う	●住宅再建の支援制度が複雑で使えない		
●仕事を続けられない ●相互扶助が崩れる	●就業機会の損失 →		
	●義援金収入による生活保護打ち切り		
●生活困窮者の状況を把握しづらい			●低所得者・生活保護世帯の防災備蓄
2 飢餓をゼロに			
●食料の不足（生鮮食料品の不足） ●アレルギー対応食の不足 ●離乳食の不足	●食欲低下・体重減 ●単調な食事 ●栄養の偏り・不足 ●食欲低下・体重減	●農地や機械が回復できない → ●農業の風評被害 →	
3 すべての人に健康と福祉を			
●食中毒	●ストレス ●PTSD →		
	●酒・たばこ消費量が増える		
●エコノミー症候群 ●感染症 ●脱水症	●生活不活発化 ●高齢者や障害者が自立生活できなくなる ●妊産婦・新生児の生活環境確保 → ●日常服薬している薬が入手できない	●病院へのアクセスが確保できない →	●災害時要配慮者が把握できていない ●災害時要配慮者の避難計画ができていない
●受動喫煙対策が十分図られない ●避難所がバリアフリーになっていない ●トイレや入浴など衛生環境が整っていない ●福祉スペース・福祉避難所が確保できない		●支援者の支援（ケアする人のケア）	●福祉スペース・福祉避難所の設置の仕組みが整っていない
4 質の高い教育をみんなに			
●勉強場所が確保できない ●学習機会の損失・遅れ ●教材や制服、部活用具などを失う →	●風評被害によるイジメ →		●防災への意識啓発、防災（減災）教育
5 ジェンダー平等を実現しよう			
●避難所生活における性的配慮がない ●妊産婦への配慮が十分でない ●入浴環境が十分でない	●DV/ 児童虐待などが増える	●母子避難者が孤立する	●支援計画作りに女性の視点が入らない ●防災組織の女性の比率が低い ●役割が固定化されている
●性差別、性暴力被害 →			
●意思決定の参加機会に性差がある →			
6 安全な水とトイを世界中に			
●上下水道の早期復旧 ●衛生面の悪化 ●感染症	●上下水道の確保 ●衛生設備の確保 ●冬季凍結がおきやすい	●水に関連する生態系の保護・回復	●貯水タンク、浄水器整備
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに			
		●エネルギー効率の改善（住宅設計・設営、断熱）	
●避難所運営に必要なエネルギーの確保 ●物資輸送に必要なエネルギーの確保	●日常生活に必要なエネルギーの確保		●再生可能エネルギーの開発・活用
8 働きがいも経済成長も			
●雇用職員の安全確保 ●勤務形態の配慮がない →			●事業継続計画の策定 ●社員の家族のケアのしくみ ●広域避難支援のしくみ
●避難に伴う失職リスク →			
●第１次産業の再開ができない →			
●個人事業主が事業再建できない →			
	●被災した観光地の風評被害 →		
9 産業と技術革新の基盤をつくろう			
●インフラの早期復旧 →	●新しい産業の創出		●建物やインフラの耐震性の向上 ●防災技術の開発
	●インフラの復旧格差 →		
10 人や国の不平等をなくそう			
●性的少数者が必要・十分な支援を受けられない →			●災害時の想定に外国人や旅行者、マイノリティなどが十分含まれていない
●在住外国人が必要・十分な支援を受けられない →			
●旅行者が必要・十分な支援を受けられない →			
●自治体間の対応格差・支援格差 →			
●避難場所による情報格差	●居住の状態による情報格差 →		
		●支援者の支援	
11 住み続けられるまちづくりを			
●バリアフリーな避難所が少ない ●プライバシー確保された避難所が少ない	●住み慣れた土地での生活再建ができない → ●人口流出と高齢化が加速する → ●集落が維持できなくなる → ●公共交通の確保 →		●貧困及び脆弱な立場にある人々への防災対策
		●レジリエントな復興計画策定	
12 つくる責任つかう責任			
●文化・自然遺産の保護	●文化・自然遺産の補修・回復 →		●文化・自然遺産の保護・保全・防災対策
●支援物資のフードロス →			●給食センターの BCP
●物流の確保・最適化		●風評被害 →	●地元お弁当屋さんとの協定の仕組み
●災害廃棄物の処理			●災害廃棄物の処理対策
			●備蓄
13 気候変動に具体的な対策を			
●被災か所の迅速な復旧 →			●複合災害への備えが十分でない（地震と豪雪など）
●複合災害・広域災害に対応するリソース不足			
●被災者の救命・救急			
●被災者数・避難者数の把握ができない →			●ハザードマップの改訂が進まない ●国・地方レベルの防災戦略づくり
14 海の豊かさを守ろう			
	●津波や水害による海ゴミの対策 ●漁場や加工場が回復できない →		●防潮林の整備・維持
	●漁業の風評被害 →		●海洋・沿岸の生態系に配慮した防災対策
	●海の生態系の回復 →		
15 陸の豊かさも守ろう			
●生物の生息環境が変化する	●仮設住宅建設における環境配慮が不十分 ●劣化した土地・土壌・生態系の回復	●観光資源の開発	●生態系を活用した防災・減災 ●自然体験プログラム
	●新市街地や復興公営住宅建設における環境配慮が不十分 ●劣化した土地・土壌・生態系の回復		
16 平和と公正をすべての人に			
●安心・安全の確保 ●性暴力・犯罪の防止	●避難所生活における自殺・犯罪の防止		●防災・災害支援計画の意思決定への市民参画
●支援・復旧活動の意思決定への市民参画 ●人権の擁護	●復興計画の意思決定への市民参画 →		

制作：特定非営利活動法人 日本 NPO センター　制作協力（敬称略）：辛嶋友香里（ピースボート災害ボランティアセンター）、松原裕樹（ひろしま NPO センター）